

標 題 : Adherence to Mediterranean diet and risk of cancer :
A systematic review and meta-analysis of observational studies
地中海食事の順守と癌のリスク :
観察研究の系統的な再検討およびメタ解析

著 者 : L. Schwingshackl and G. Hoffmann (オーストリア ウィーン大学
生命科学部 栄養学科)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 135: 1884-1897 (2014)

要 旨 :

この調査研究の目的は、全体的な癌リスクおよび各種の癌に対する地中海食事の影響をメタ解析することであった。

2014年1月10日までの電子データベース MEDLINE、SCOPUS および EMBASE を用いて文献調査を実施した。

採用基準はコホート研究または症例-対照研究であった。

研究ごとのリスク比(RRs)を、Cochrane のソフトウェアパッケージ Review Manager 5.2 によるランダム効果モデルを用いて統合した。

被験者 1,368,736 人を含む 21 件のコホート研究および被験者 62,725 人による 12 件の症例-対照研究が目的に合ったので、メタ解析に組み込んだ。

地中海食事の順守が最も高い人々は有意なリスク低下を、癌全体の死亡率/発症率(コホート、RR:0.90、95%CI 0.86-0.95、 $p<0.0001$ 、 $I(2)=55\%$)、結直腸癌(コホート/症例-対照、RR:0.86、95%CI 0.80-0.93、 $p<0.0001$ 、 $I(2)=62\%$)、前立腺癌(コホート/症例-対照、RR:0.96、95%CI 0.92-0.99、 $p=0.03$ 、 $I(2)=0\%$)、および気道・消化器の癌(コホート/症例-対照、RR:0.44、95%CI 0.26-0.77、 $p=0.003$ 、 $I(2)=83\%$)にもたらした。

乳癌、胃癌および膵臓癌では有意でない変化が観察された。

Egger 回帰テストで、かなりの公表バイアスの限られた証拠が提示された。

地中海食事の高い順守は、総癌死亡率(10%)、結直腸癌(14%)、前立腺癌(4%)および気道・消化器癌(56%)のリスクの有意な低下と関連する。

キーワード : 地中海食事、癌、メタ解析
